

## 第3章 湯之元駅周辺地区の現状と課題

### 1. まち歩き(現地点検)ワークショップの実施

#### (1) 概要

市民・当事者の立場から湯之元駅周辺地区におけるバリアフリーに関する現況や課題を把握し、現地で発見された課題や意見等を整理することで本構想策定に反映させることを目的とし、「まち歩き(現地点検)ワークショップ」を実施しました。

3グループに分かれ、湯之元駅、バス停等の公共交通施設、高齢者や障がい者等が利用する主要な施設、周辺地区の主要施設への経路となる道路を実際に歩いて、気になった点や課題点、望ましい整備が行われている箇所等をチェックしました。また、現地点検後、机上にて出てきた課題点の整理、課題に対する方策や今後の整備に関する意見をまとめ、参加者間で意見交換を行いました。



図 3-1 現地点検の様子



図 3-2 意見交換の様子

## (2) 実施内容

実施日時:令和6年(2024年)10月10日 9:00~12:00

参加者 :23人

タイムテーブル	
9:00~9:10	事前説明(10分)
9:10~11:05	現地点検スタート(115分)※終了次第各自休憩
11:05~11:55	意見交換・整理、発表(50分)
11:55~12:00	閉会

グループ	ルート
グループ①	湯之元駅~平田橋~田之湯バス停~郵便局
グループ②	湯之元バス停~湯之元駅~湯之元橋
グループ③	福祉センター~田之湯バス停~郵便局~湯之元駅

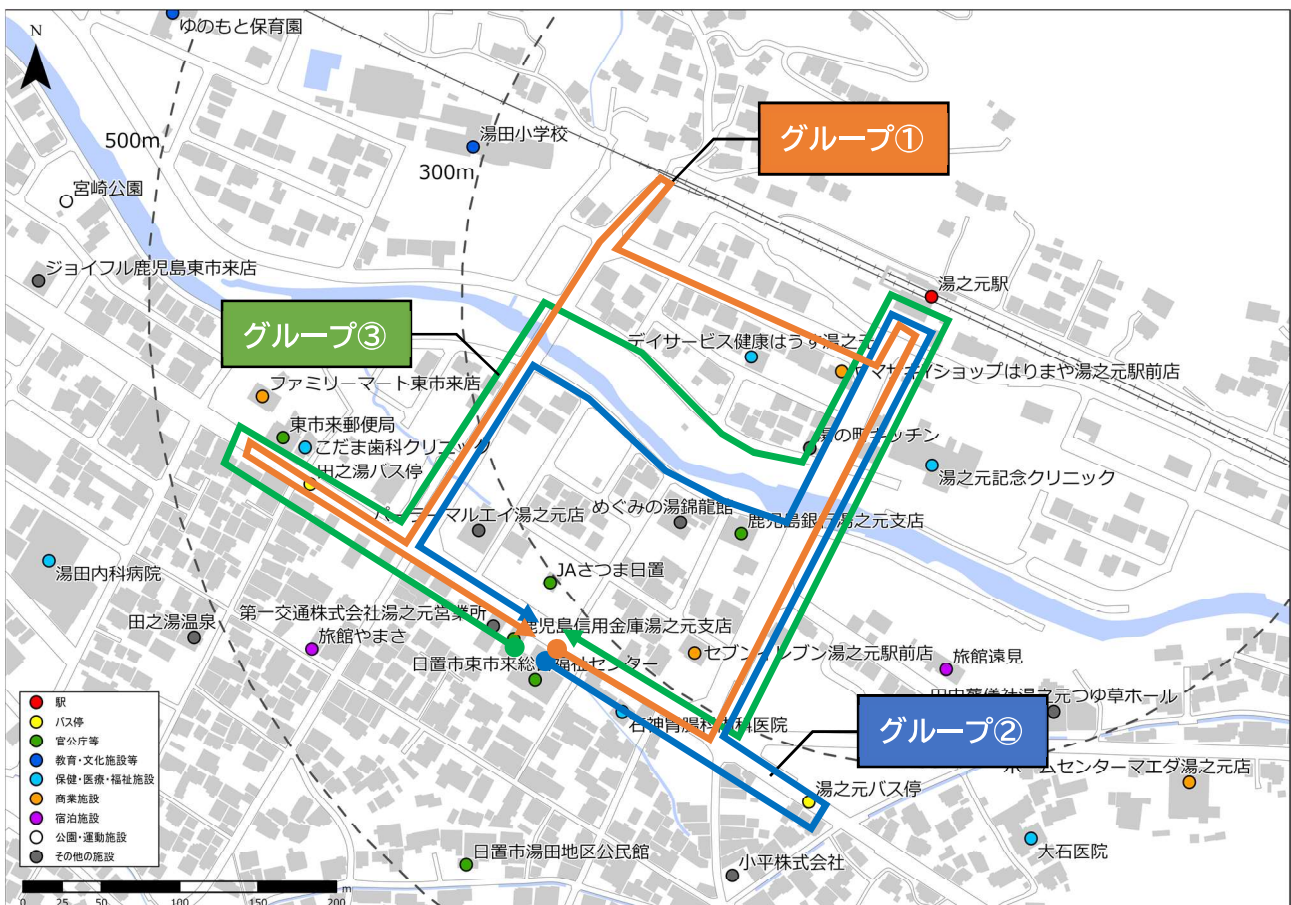


図 3-3 まち歩き(現地点検)ワークショップルート

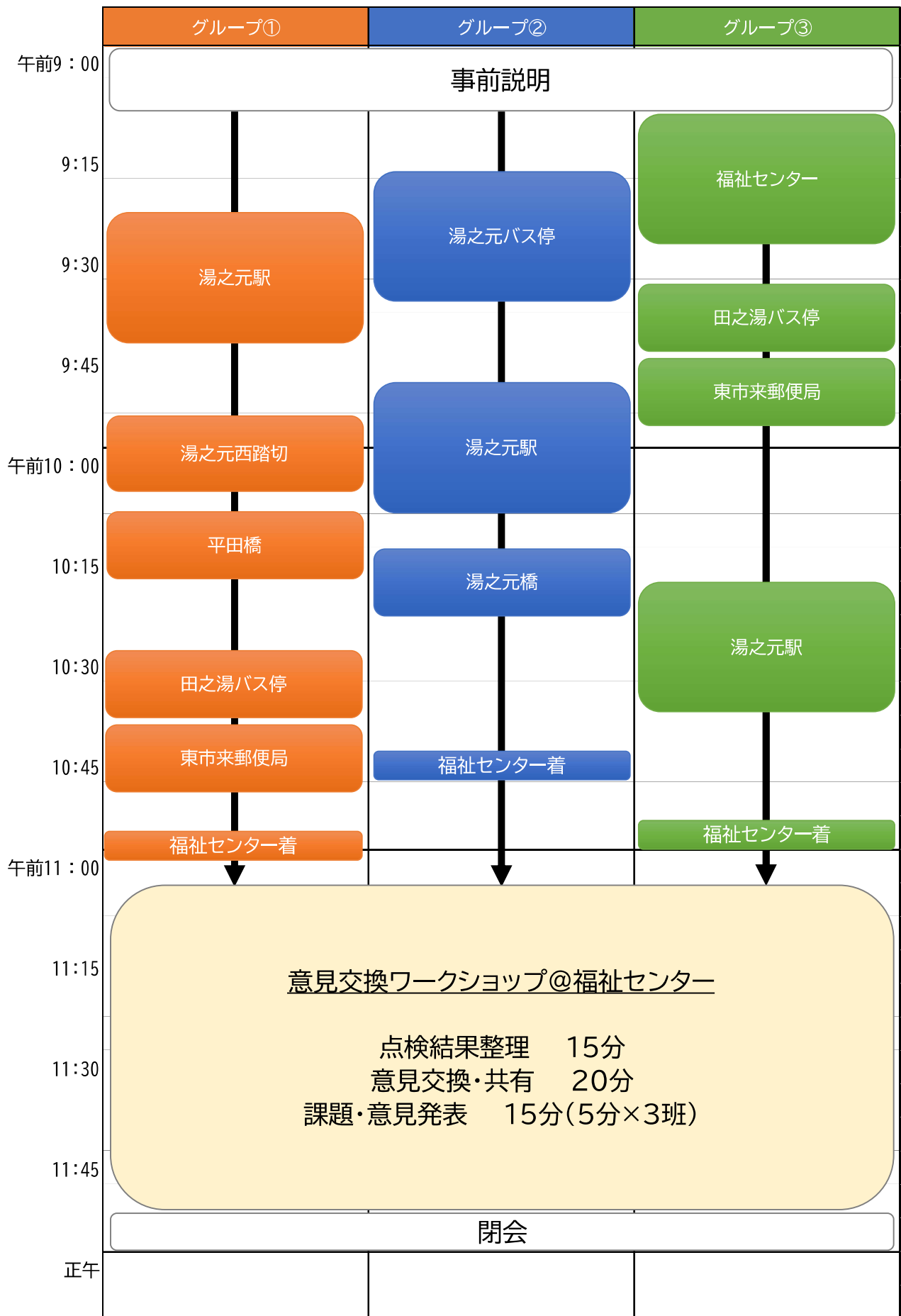


図 3-4 グループ別のタイムスケジュール

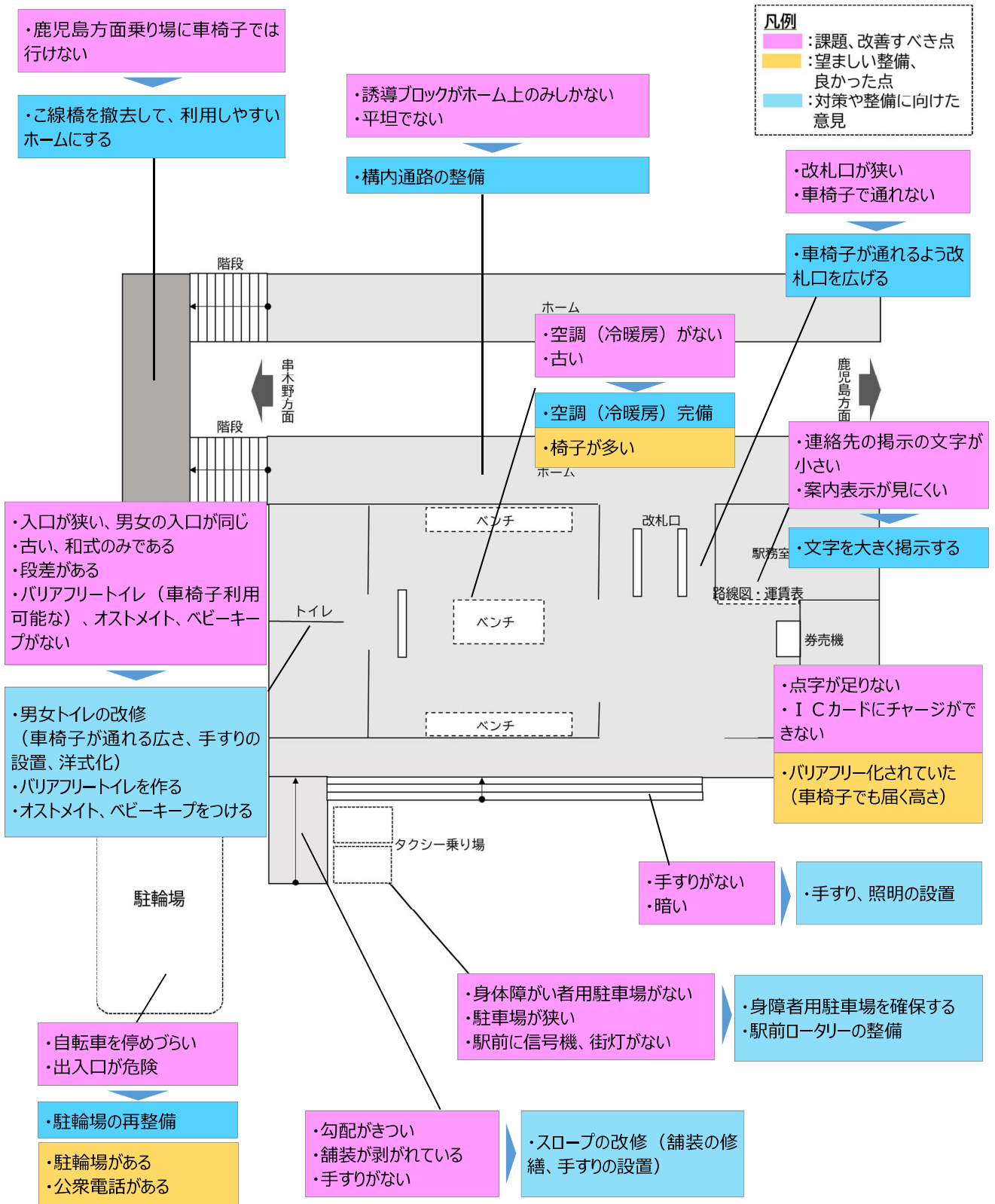
## 2. 湯之元駅に関する課題

### (1) まち歩き(現地点検)ワークショップで出た課題・意見

湯之元駅に関する課題・意見、またそれに対する対策や整備に向けた意見として、まち歩き(現地点検)ワークショップでは以下のような意見があげられました。

表 3-1 湯之元駅に関する課題・意見/対策

場所	課題・改善すべき点	対策・整備に向けた意見
スロープ	勾配がきつい、舗装が剥がれている、手すりがない	スロープの改修 (舗装の修繕、手すりの設置)
階段	手すりがない、暗い	手すり、照明の設置
窓口	連絡先の掲示の文字が小さい、案内表示が見にくい	文字を大きく掲示する
券売機	点字が足りない、IC カードにチャージができない	—
待合室	空調(冷暖房)がない、古い	空調(冷暖房)完備
トイレ	入口が狭い、男女の入口が同じ	男女トイレの改修(車椅子が通れる広さ、手すりの設置、洋式化)
	古い、和式のみである	
	段差がある	
	バリアフリートイレ(車椅子利用可能な)、オストメイト、ベビーキープがない	バリアフリートイレを作る オストメイト、ベビーキープをつける
改札口	狭い、車椅子で通れない	改札口を広げる
ホーム	誘導ブロックがホーム上のみしかない	構内通路の整備
	平坦でない	
	鹿児島方面乗り場に車椅子で行けない	こ線橋を撤去し、利用しやすいホームにする
駐車場	身体障がい者用駐車場がない	身体障がい者用駐車場を確保する
	駐車場が狭い	駅前ロータリーの整備
	駅前に信号機、街灯がない	



※原文のまま掲載しているため、誤字や脱字等が含まれている場合があります。

図 3-5 湯之元駅に関する課題・意見/対策

表 3-2 湯之元駅の指摘箇所写真

①スロープ



②階段



③窓口



④券売機



⑤トイレ

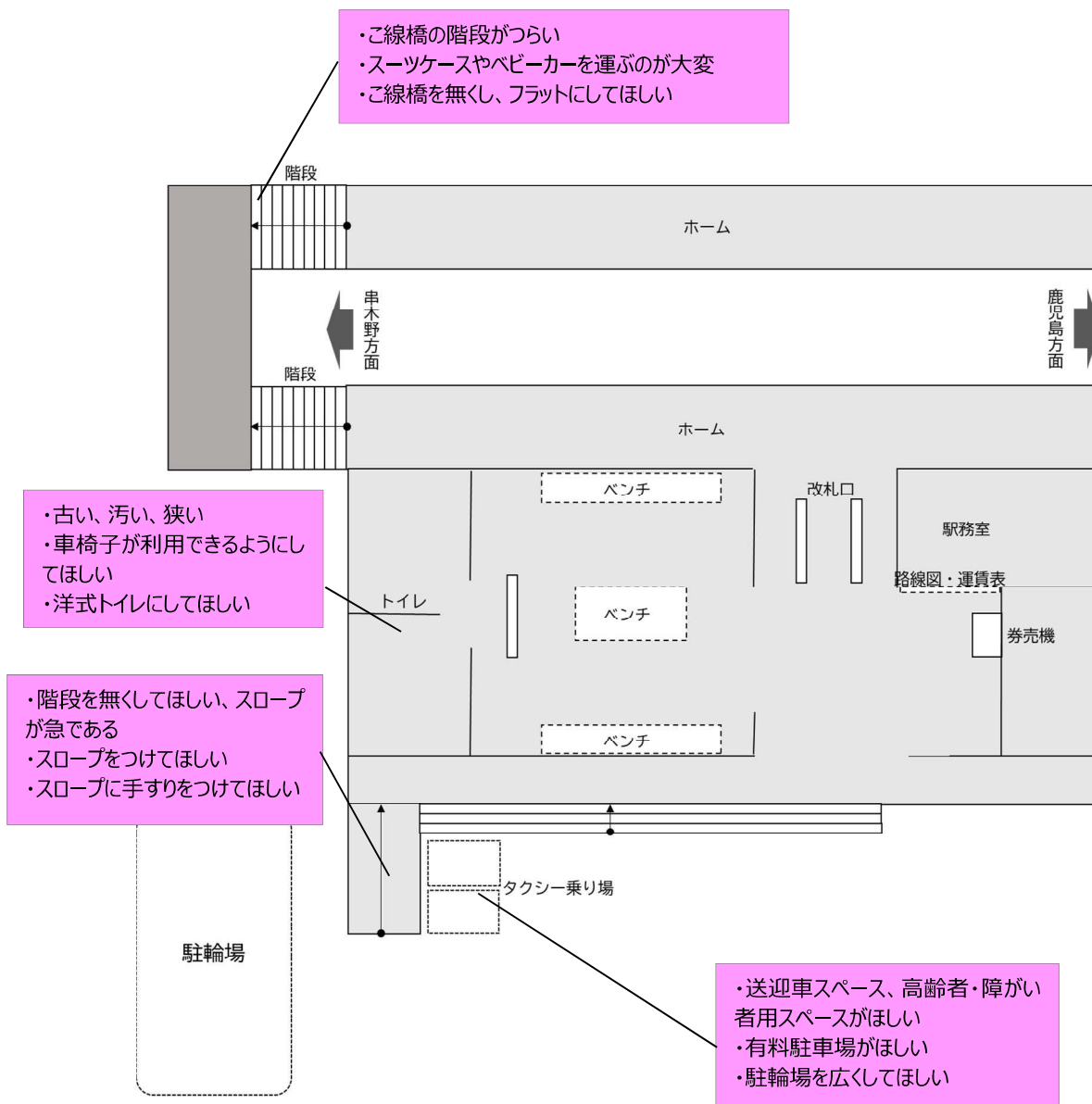


表 3-3 湯之元駅の指摘箇所写真

⑥改札口	⑦ホーム
 A person in a wheelchair is using a ramp to pass through a ticket gate. The person is wearing a dark blue shirt, dark pants, and brown shoes. The ramp is made of metal and has a green sign with a white arrow pointing up. The ticket gate is made of metal and has a green sign with a white arrow pointing up.	 A station platform with a yellow tactile paving strip. The platform is made of concrete and has a yellow tactile paving strip. The tactile paving strip is made of small, raised, rectangular blocks. The platform is outdoors and has a building in the background.
⑧こ線橋	⑨駐車場
 A red metal bridge with stairs leading to a platform. The bridge is made of red metal and has a black metal railing. The stairs are made of concrete and have a black metal railing. The platform is made of concrete and has a black metal railing. The bridge is outdoors and has a building in the background.	 A parking lot with a white painted area. The parking lot is made of asphalt and has a white painted area. The white painted area is a square with a white border and a white 'X' in the center. The parking lot is outdoors and has a building in the background.

## (2) 自治会のアンケートで出た課題・意見

湯之元駅に関する課題・意見について、周辺地区自治会に対して行ったアンケートでは以下のような意見があげられました。



※原文のまま掲載しているため、誤字や脱字等が含まれている場合があります。

図 3-6 湯之元駅に関する課題・意見(抜粋)

表 3-4 湯之元駅に関する課題・意見(自治会アンケートより)

場所	ご意見・ご要望
ホーム・こ線橋	中央駅方面行きホームに行くまでの階段がづらい。(エレベーター、エスカレーターの設置)
	歩道橋をなくして、フラットに移動をお願いしたい。スーツケースをもちあげて、運ぶのが重労働です。
	反対側ホームへ移動に跨線橋使用のため階段を使わず、平面移動にしてほしい。
	湯之元駅を利用する事が年3~4回ありますが、年を取る毎に、鹿児島行きホームに行く途中の鉄橋にきつい思いをします。早く東市来駅みたいな形になればと希望します。
	湯之元駅を利用していた人も現在東市来駅から乗車する人がいるとの事。バック、荷物がある時は絶対、東市来駅の方が容易である。
	歩道橋の階段の昇り降りは時間もかかりきつい。
	ホームへの階段をなくしてほしい。(東市来駅のような通路を設置してほしい)
	駅歩道橋をなくし、地下通路としてほしい。段差を無くす。
	中央駅方面へのホームへの移動等をお願いします。
	ベビーカー等を持って階段を登るのが大変で、反対側に行く際バリアフリーで渡れたらありがたい。
	ホーム間移動のためのエレベーターを設置して欲しい。(階段のみのため不便)
	中央駅方面のホームに改札を設け、階段の昇り降りをしなくてもいいようにしてほしい。
	足腰が悪い人が上り(鹿児島中央)のホームへ移動するのが大変だった。
	高齢者、障がい者が特に階段を上がる際、時よりひざに手を当てて辛そうにされている方もいます。
	駅自体の歩道橋を東市来駅のようにフラットにして頂きたいです。階段で転倒しけがをしているので、登り下りがきついです。雨の日や光がまぶしい時など傘をささなければならないので、まわりにも気をつけてかたみがせまいです。
	改札口から線路向こうのホームに行く際車椅子利用者等、階段昇降ができない方の移動手段(上下移動や段差への処理)はどのようにしたらいいものか。エレベーター等、ベビーカー利用も同じく。
	ホーム間移動はスロープかなと思いますが、屋根と誘導用音、点字ブロックを設置し、障がい者にも安心かなと。ホーム移動のスロープにも手すりを。
雨天時屋根もなくすべりやすい。(屋根の設置)	
ホームでまっている間、日差しが強い、雨がふりこんでぬれるため雨、日よけが必要です。	
トイレ	トイレが汚い、せまい。
	トイレは車イス利用可にしていきたいです。
	トイレは車椅子が使用できず、車椅子が使用できる個室が欲しい。

※原文のまま掲載しているため、誤字や脱字等が含まれている場合があります。

表 3-5 湯之元駅に関する課題・意見(自治会アンケートより)

場所	ご意見・ご要望
トイレ	乗り降り、トイレを含めて全面バリアフリー化して欲しい。
	今は、トイレと待合、展示スペースが近すぎて不衛生。トイレと距離を取りにくい場合は、外向きの出入り口。展示スペースをできればトイレ横以外に。
	駅の改修も早くお願いします。特にトイレの狭さ、不潔感が気になる。
	洋式トイレを設置してほしい。(多目的トイレ)
	トイレをきれいにして欲しい。
	トイレが古く、タイルがすべりやすい。年より、子どもは大変。
	トイレも車イスの方が利用できるものが良いと思います。
	男用は和式トイレしかなく洋式に変えて欲しい。
	臭いので消臭効果なし。
	クリーンなトイレの場を作ってほしい。
	トイレが汚れている。(壁やくもの巢の掃除がされていないなど)
駅入り口	改札口までの階段→スロープが必要です。
	湯之元駅入口が階段になっており、スロープはあるが狭くて急であるため、段差をなくす。スロープはなるべく緩やかにしてほしい。
	湯之元駅周辺の段差をなくしスロープ道としてすべり防止をする。
	スロープには手すりをつけてほしい。
	スロープは手すりが無いので設置してほしい。
駐車場・駐輪場	駐輪場から勢いよく自転車が出てくることがあるので駐車場に車をとめているときにヒヤツとした。(区画分け、整備)
	駐車スペースと迎車スペースと分けたら良いのでは。
	電車を利用する場合、自宅から駅までが遠い為、駅まで自家用車を使用することとなる。現状では駐車場が狭い為、中々使用しにくい。従って、この際一般駐車場を十分確保してほしい。
	駅舎の前は、車と人との動線の分離がされていないので危険である。人と車の動きが混載しないようしっかり分離してほしい。
	駐車場の安全確保をいっばんに、送迎ロータリー、できれば屋根付き。
	駅の駐車場を利用しやすく整備してほしい。
	駅前ロータリーの確立。東市来駅、湯之元駅については、駅前広場が狭く送迎の車が一方方向に進行出来ず、歩行者にも支障がある。
	高齢者、障がい者のスペースを確保して、スムーズな流れになるようにして欲しい。
	両駅とも送迎車スペースが少なく、とくに4月には学生の送迎になれない方もいて、なんとなく守られている秩序が乱れてキケンです。誰でも理解して使いやすいようにして欲しい。東市来駅に関しては、月極スペースのみで送迎車スペースはありません。必要だと思います。

※原文のまま掲載しているため、誤字や脱字等が含まれている場合があります。

表 3-6 湯之元駅に関する課題・意見(自治会アンケートより)

場所	ご意見・ご要望
駐車場・駐輪場	駐車場を広く設置し又自転車置場も広く取る様に。
	駅前をロータリー通行にする。通学路の明示を大きくする。
	伊集院駅に設置されているような駐車場を設置してほしい。
	伊集院駅のようなコインパーキングが欲しいです。
	有料駐車場がないので不便
	自転車置き場が混雑して乱雑に置かれているため、奥が空いていてもそこまで行けない。自転車とバイクの置き場を各々設けてほしい。(屋根も)
	駅利用する時は自宅から駅まで車使用する。長時間使用可能な駐車場がほしい。
	県道309号及び市道と駅の駐車場との境界がわかりにくい。
その他	バリアフリー化とは関係ないが、スゴカをチャージできるよう券売機を新設してほしい。
	待合室は、基本木材を使用し座っていると痛くなります。寄りかかる方もいるので、ホーム側の方にスタンディングチェアを設置してほしい。(広木駅にはあります)
	きれいなトイレや待合室にも湯之元の名所などの写真パネル等もあったら良いと思う。
	以前は駅にキレイな花が植えられたり、花が飾ってあったが最近うるおいのない施設になっているような気がする。駅前自治会の皆さん、何か工夫してみてもどうでしょう。例えば高齢者クラブの活動の一つとして美化活動に取り組んでみたらどうですか。
	湯之元駅は湯之元温泉の玄関口なのに、余りそれを感じない。湯之元温泉のシンボルになるようなものを駅に作ってほしい。
	湯之元の玄関口、「ようこそ湯之元へ」や「おかえりなさい」「いってらっしゃい」の気持が伝わる駅舎自体のデザインまたはウェルカムゲート。
	駅自体の雰囲気をもっと明るく、湯之元らしいデザインにしてくれたら観光客も来るのでは。
	広報や市民作品展示のスペースの確保。
	花壇については、地域ボランティアさんが無理のない範囲のスペースで。
	駅構内もしくは駅周辺のどちらかではなく、両方バリアフリーに向けて実現してほしい。
	補助が出る様で工事をされるならば、適切に限界一杯までバリアフリー化に注ぎ込んでください。
	駅の裏手の住宅の方は通称”勝手踏切”で線路を渡られている。
視覚障害者＝ガイドヘルプ等ソフト面の対応、聴覚障害者＝手話、知的・精神・発達障害＝ソフト面の対応	

※原文のまま掲載しているため、誤字や脱字等が含まれている場合があります。

### 3. 周辺道路・地区に関する課題

#### (1) まち歩き(現地点検)ワークショップで出た課題・意見

湯之元駅周辺道路及び周辺地区に関する課題・意見、また、それに対する対策や整備に向けた意見として、まち歩き(現地点検)ワークショップでは以下のような意見があげられました。

表 3-7 湯之元駅周辺道路及び周辺地区に関する課題・意見/対策

場所	課題・改善すべき点	対策・整備に向けた意見
国道3号	歩道の幅員が狭い	歩道を広くする
	見通しが悪い	電柱・標識・信号機の移設
	横断歩道がない	横断歩道を増やす
	ガタガタして歩きにくい	段差を平坦にする、起伏を無くす
	押しボタン式信号機であるが、音が出ない	音響式信号機に変更する
湯之元交差点	歩行者信号機が短い	信号機の時間を長くする
国道3号～ 湯之元駅	案内標識が低く、危ない、見えづらい	高さを高くする、カラーコーンを置く、ライトアップする
	舗装(インターロッキング)が一部割れている	補修する
	視覚障がい者誘導用ブロックがない	優先順位をつけて、視覚障がい者誘導用ブロックを設置する
	車道の舗装が下がっていて(段差がある)、水がたまる	集水桝に穴をあけ、排水できるようにする
国道3号～ 湯田小学校	案内標識、視覚障がい者誘導用ブロックがない	視覚障がい者誘導用ブロックを設置する
	湯田小学校前の交差点で踏切からの車が見えない	カーブミラーをつける
湯之元西踏切	歩道が途中で行き止まりになっている	歩道を広くする
大里川南側	歩道がない、草で覆われて道幅が狭い	歩道の整備を行う
	通学路の案内がない	通学路の案内板をつける
大里川北側	歩道がない	—
	視覚障がい者誘導用ブロックがない	—
湯之元バス停	幅員が狭い、傾斜がある	—
	視覚障がい者が認識できない	—
	待合所がない	—
	案内板がない	—

表 3-8 湯之元駅周辺道路及び周辺地区に関する課題・意見/対策

場所	課題・改善すべき点	対策・整備に向けた意見
田之湯バス停	時刻表の文字が小さい、見にくい	時刻表の文字を大きくする
	時刻表に点字がない	点字をつける
	ベンチが壊れている	ベンチの改修をする
	屋根がない	屋根をつける
	幅員が狭い、乗り降りしにくい	バス停を広くする
日置市東市来 総合福祉センター	点状ブロック、オストメイトがない	オストメイトをつける
	スリッパは転びやすい	スリッパ不要にする
東市来郵便局	草が生い茂り、駐車場のマークが見えない	緑の管理(見えるように)をする

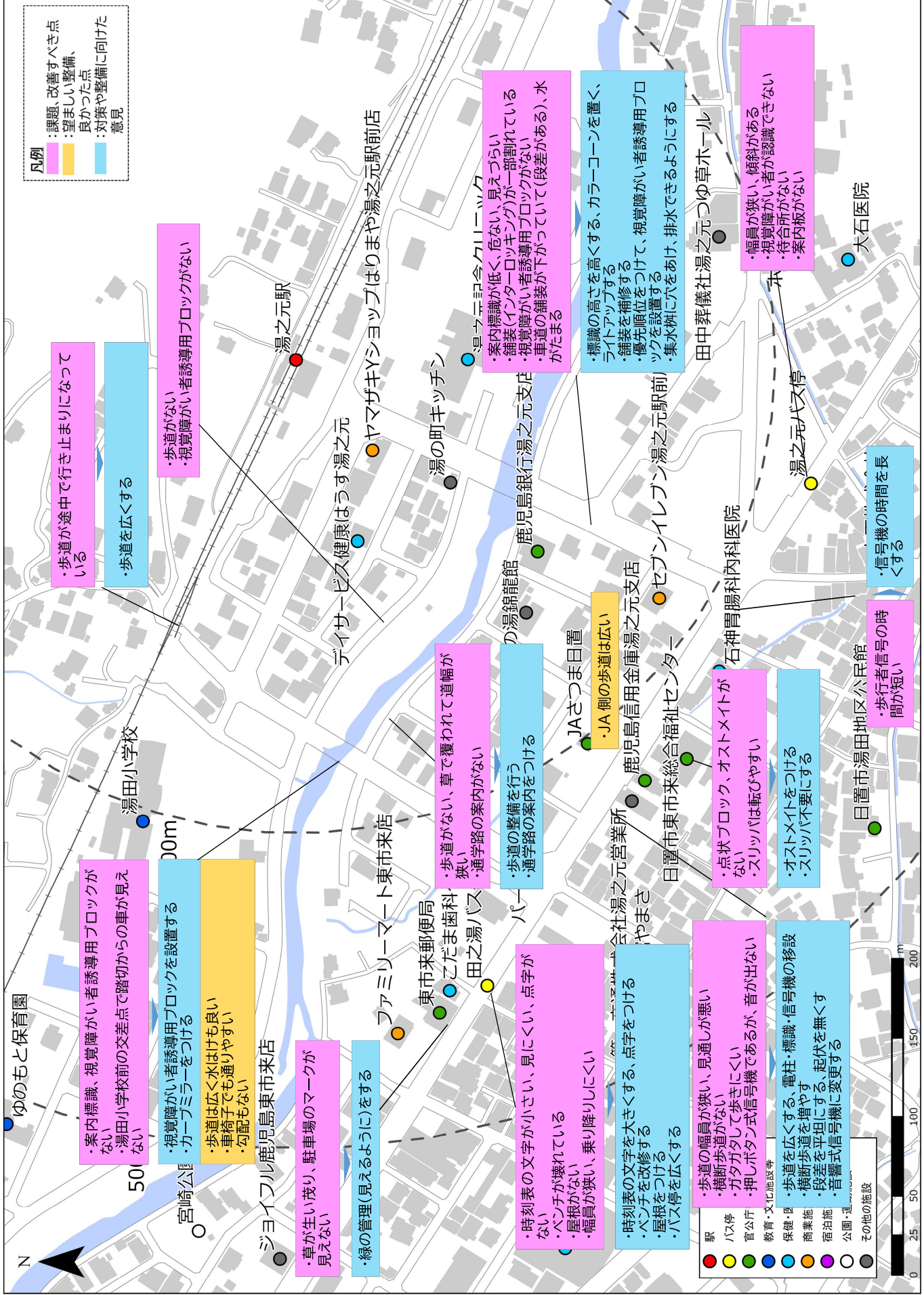


図 3-7 湯之元駅周辺道路及び周辺地区に関する課題・意見・対策

表 3-9 湯之元駅周辺道路及び周辺地区の指摘箇所

①国道3号	
	
②国道3号～湯之元駅	
	
③国道3号～湯田小学校	④湯之元西踏切
	

表 3-10 湯之元駅周辺道路及び周辺地区の指摘箇所

<p>⑤大里川南側</p>	<p>⑥大里川北側</p>
	
<p>⑦湯之元バス停</p>	<p>⑧田之湯バス停</p>
	
<p>⑨東市来郵便局</p>	
	

(2) 自治会のアンケートで出た課題・意見

湯之元駅周辺道路及び周辺地区に関する課題・意見について、周辺地区自治会に対して行ったアンケートでは以下のような意見があげられました。

表 3-11 湯之元駅周辺道路及び周辺地区に関する課題・意見(自治会アンケートより抜粋)

場所	ご意見・ご要望
周辺道路	駅前通りの砂利道も危険なので舗装して頂きたい。
	湯之元駅周辺地区は視覚障害者用点字ブロックがないため、土地区画整理事業の工事中なのかわからないが数年先の完成まで待てない。
	湯之元駅国道3号交差点が一部未舗装で碎石のまま、工事の途中で4、5年そのままである。歩行や自転車で通行するたび、転倒しそうになるため、工事再開が数日ならわかるが4、5年先なら簡易舗装でもすべき。
	田の湯近くを自転車で通行するとき、側道から道路に出る際、道路側溝との段差がある、自転車がパンクしそうになるため(カーブミラーの箇所)、段差の解消をしてほしい。
	道路のラインを明確にして視覚障害の方でもわかるまちなして欲しい。
	盲人が分かりやすい歩道、信号交差点とする様に。
	駅前の外灯が少なく、特に小学校方向が明るくない事に不安を感じる。
心のバリアフリー	陥没した道路など整備してください。
	物理的なバリアフリーも大事だが、心のバリアフリーも大切。困っている人がいたら手伝ってあげるといった教育もしっかりやって欲しい。

※原文のまま掲載しているため、誤字や脱字等が含まれている場合があります。

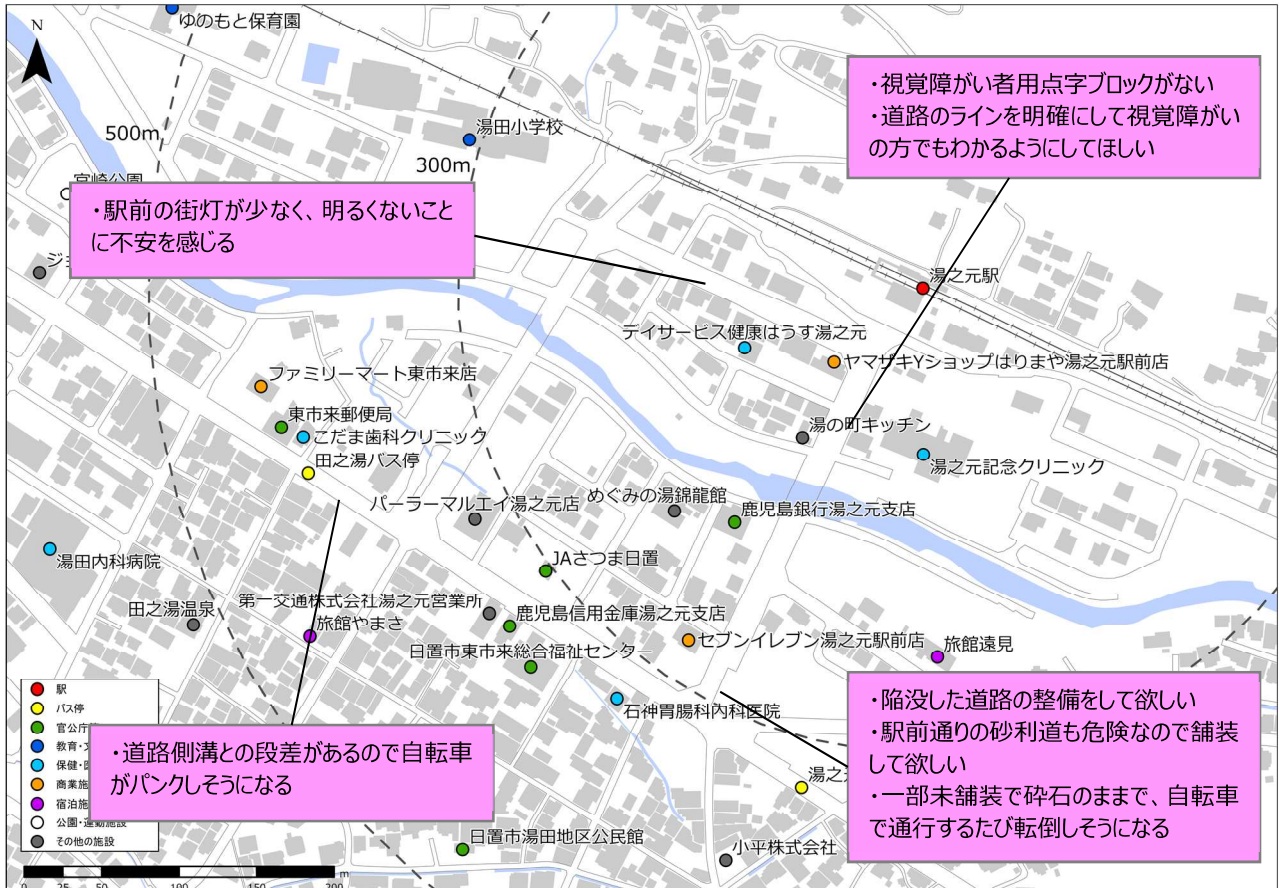


図 3-8 湯之元駅周辺道路及び周辺地区に関する課題・意見(自治会アンケートより抜粋)

## 4. 湯之元駅周辺地区のバリアフリー化に向けた課題

前項までの意見を踏まえ、湯之元駅周辺地区に関するバリアフリー化に向けた課題を以下のように整理しました。

<b>課題①:湯之元温泉の玄関口にふさわしい湯之元駅及び駅前広場の再整備</b>
現在の湯之元駅は、駅構内のトイレやホーム、改札など各種設備は高齢者や障がい者等にやさしい環境とは言えず、また、駅前の空間においても、補助施設のない段差や車両待機・駐輪のスペース不足など、良い環境であるとは言えません。 そのため、駅を利用する高齢者、障がい者、子育て世代、子連れの方、観光客を含む誰もが安全に利用できるような <b>湯之元温泉の玄関口にふさわしい駅及び駅前広場の整備</b> が必要です。
<b>課題②:周辺地区の移動環境の改善</b>
湯之元駅の周辺地区においては、土地区画整理事業によって歩道の整備等が進められていますが、視覚障がい者誘導用ブロックが整備されておらず、また、国道沿いの歩道は依然として狭く、交通量の多さも相まって危険な状況にあります。 そのため、駅利用者だけでなく、駅から各施設への移動や周辺住民の通学路等の日常利用を含め、 <b>円滑に徒歩で移動できる歩道等の移動環境の整備及び改善</b> が必要です。
<b>課題③:心のバリアフリーの醸成</b>
本市では、これまでも学校や市関係各課、交通事業者等がそれぞれ主体となって、心のバリアフリーに関連する取組を進めています。 ハード面の整備だけでなく、誰もが「住んでよし 訪ねてよし ふれあいあふれるまち ひおき」を感じられるよう、より一層のソフト面での施策に取り組み、 <b>市民及び事業者と一体となった「心のバリアフリー」の更なる醸成</b> が必要です。
<b>課題④:持続的なバリアフリー化の推進</b>
今後の高齢化の進展や活性化に向けたまちづくりのあり方を踏まえると、バリアフリー化に関連する取組は、将来にわたって継続的に実施していくことが重要となります。 土地区画整理事業の進捗を含め、地域の状況に合わせて見直しを行い、 <b>持続的なバリアフリー化事業の実施</b> が必要です。

### 「心のバリアフリー」とは(出典:ユニバーサルデザイン2020行動計画)

様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことを意味します。「心のバリアフリー」を体現するためのポイントは以下のとおりです。

- (1) 障害のある人への社会的障壁を取り除くのは社会の責務であるという「障害の社会モデル」を理解すること。
- (2) 障害のある人(及びその家族)への差別(不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供)を行わないよう徹底すること。
- (3) 自分とは異なる条件を持つ多様な他者とコミュニケーションを取る力を養い、すべての人が抱える困難や痛みを想像し共感する力を培うこと。